

会長：清水 雅広 副会長：三荒 弘道 幹事：小林 誠 クラブ会報・IT 委員会委員長：相山 洋明
例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2022年12月 8日 第 3392 回 週報第 3392 号

| | | | | | | | |
|------------|---------|---------|-------------|------------|--------|-------|------------|
| 本日12月 8日 | 会員数 64名 | 対象者 64名 | 出席者 41(41)名 | 出席率 64.06% | | | |
| 前々回11月 24日 | 会員数 64名 | 対象者 64名 | 出席者 39(39)名 | 出席率 60.94% | MUP 0名 | 計 39名 | 修正率 60.94% |

第二回情報集會報告会 テーマ 平塚ロータリークラブビジョン声明について考えよう!

赤グループ 大島圭吾幹事

出席メンバー：清水会長 清水(孝) 会員/鳥海会員/江藤(博) 会員/前田会員/下平会員/大島グループ幹事

『クラブビジョン』に対して & 強み

- 清水委員長が目標にむけてこうしていこうというクラブの方向性がわかり非常によく作ってくれている
- 『クラブビジョン』の表現がわかりやすい
- 以前所属したクラブでは『クラブビジョン』は無かった何を目標しているのかわかっていいと感じる
- 平塚 RC は若い層が多い、交流が多い いいバランス 新しいことにチャレンジしている
- 会員数も多く、恵まれているから『クラブビジョン』が作れる



【課題】

- 長い事関わってきたが、平塚 RC は国際貢献が弱いと感じる
- 『クラブビジョン』を持った組織としてよりよくなるために積極的な役職を獲りに行ってもいいのではないかと
- 年齢が広範囲なため逆にどうまとめていくか、会長の求心力次第
- 会長は一年では短い、一年だからいい、幹事は一年で十分、会長はもっとやりたい 楽しい 幹事次第
- 幹事は大変!
- 新会員に対するサポートをもっと手厚くすべきでは? スポンサーの関与が必要

【議論】

ロータリーにそもそも『ビジョン』が必要か? 『ビジョン』に縛られて会長が好きなことが出来ないのでは?

その先にはなにがあるの?

一年という限られた期間では何か導いてくれるものがないと出来ない
平塚 RC はメンバーが多いので一回会長、一回幹事でお役

御免 平塚 RC は恵まれている

地区 65 クラブ中、『クラブビジョン』を作っているのは 15 クラブていどではないか
『クラブビジョン』には当たり前前かが書かれている世界の共通言語 インフラみたいのもの縛られるものではなくそこから個人が作り上げればいい 会長が色をつければいい

橙グループ 原田篤志幹事

出席メンバー：成瀬会員/小野会員/高橋(建) 会員/飯塚会員/秋山会員/新堀会員/中谷会員/原田グループ幹事

(高橋建二会員)

地区全体の会員数減少。数をキープするには時代に合ったビジョン声明が必要。今後ずっと定めるのか、数年なのか。⇒時代とともに変えていくべきだと思う。今は現状で良いと思う。



(秋山智会員)

会員に浸透させたい。なんでもできるビジョン声明だと思う。どれかを強めていくことが大事。今は良いが「今後 10 年で変えていく」などを決めていくことの方が良い。

(飯塚和夫会員)

とても良いことが書いてある。どこまで提案して良いかわからない。SWAT 分析、強みである企業会員に後任者が続かない。新しい風が吹く方が良い。会員数が多く様々な方がいることが強み。変革と進化、奉仕活動の中身を見直していくべき。

(新堀将一会員)

ロータリークラブ自体が問題ある。まとまった先に何かあるのか、がビジョン声明の良いところ。どんな奉仕活動をしているかをわかりやすくアピールする必要があるのでないか。

(小野学会員)

強みを出して弱みを克服していけば良い。強みは若手の

活気がある。
弱みは共通の集まりが全体の親睦を阻害、コミュニケーション不足

(成瀬正夫会員)

他にはない異業種交流。年齢制限がなく入会でき、職種限定の良さもあり、他の会には無いすばらしい RC には派閥がない。楽しくやればよい。

(高橋建二会員)

ガバナーが「最初の原点は交流である」と言っている。奉仕ではなくまずは交流。

(原田篤志会員)

良いことが書いてある。年齢関係なく平等で対等に話せることが楽しい。それは交流である。

(高橋建二⇒成瀬正夫会員)

高橋：オープン例会が平塚 RC の知らないところで開催している？

成瀬：昔は平塚 RC も行っていた。

ビジョン声明を作っている RC がほとんどない。

現時点では現状のビジョン声明を変更する必要はないと思われるが、時代の変化によって即したビジョン声明を随時考えていく必要はある。

現状のビジョンの変更や改正というより、そのようなタイミングで変更していくかというルール(?)を定めた方が良いかもしれない。ただ現状は会員への周知が足りないことも事実かもしれない。

またビジョン声明とは関係なくなるかもしれないが、ガバナーも「最初の原点は交流である」と話しているように、会員の交流はもっと必要という意見が多かった。

黄グループ 市川雅範会員

出席メンバー：青木会員／升水会員／杉山会員／三荒会員／葛西会員／今村会員／市川会員／鈴木グループ幹事

今回テーマの「平塚ロータリークラブビジョン声明について考えよう！」ですが、黄グループではビジョン声明の内容・中身についてではなく、その目的や位置づけ、重要性についてスポットを浴びせて、ビジョン声明の策定にあたられた升水さん、杉山さんのご意見を交えながら意見交換を行いました。



意見交換の内容を要約すると以下のとおりです。

- ・クラブビジョン声明は、平塚ロータリークラブとしての活動の目的を明確にするために作られたもので、会員一人ひとりの意識付け・統一を図るためのもの。
- ・位置づけとしては、ロータリーの不変的な理念や目的と平塚ロータリークラブとしての各年度の活動方針や具体的な活動計画・事業の間をつなぐものということでした。
- ・また、クラブビジョン声明自体は、非常に抽象的・概念的なものとなりますが、その達成に必要な具体的な優先事項が4つ、更に具体的に求められる行動目標を6つ掲

げることで戦略的に具現化を補っているということでした。

- ・それを踏まえて、メンバーの方々の意見としては、「年度ごと理事・役員は改選となり、執行部の顔ぶれや方針は変わりますが、すべての事業・活動は奉仕・親睦・研修・組織強化の4つの具体的な優先事項を切り口にして、このクラブビジョン声明の達成に向かっていくことが大切ですね」との意見が出た他、
- ・唱和によるクラブビジョンの浸透に加えて、「各事業の企画・検討の段階でも、クラブビジョン声明や4つの優先事項に照らしてこの事業はどうか？効果は？といったことが、コメント・議論されることで、ビジョンの達成や統一につながるのではないか」といった意見が出ました。
- ・そして、意見交換の結びとして升水さんからは、「ビジョン声明の中に記載がある「会員自身の資質の向上」というところがポイントで、平塚ロータリークラブでの奉仕親睦活動に積極的に参画することが、それにつながるということをお互いにイメージを膨らましてほしいな」とおっしゃっていました。

意見交換の内容としては以上となりますが、普段、何気なくクラブビジョン声明を唱和してしまっていたが、今回、改めて情報集会でクラブビジョン声明を考えることで、理解が深まったと思いましたが、何より意見交換を通じてクラブ全体への浸透につながったのではないかと感じました。

最後になりましたが、萬善さんのお醤油をつけるたびに脂の波紋が広がる新鮮なお刺身やあったまるお鍋、そしてシミシミの大根の煮物などおいしい料理とっしょに、世代の垣根を超えてメンバーの皆さんと親睦を深めることができ、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

緑グループ 下里幸平副幹事

出席メンバー：牧野会員／柏手会員／青山会員／豊川会員／米山会員／山口会員／小林幹事／下里グループ幹事

○緑グループでは11/28(月)に米山俊二会員の紹介で明石町にある酒肴ひでいちゃんにて情報集会を開催致しました。当日は牧野会員、柏手会員、青山会員、豊川会員、米山会員、山口会員と小林幹事にもご出席頂きました。ひでいさんの料理は馬刺しやもつ鍋等とてもおいしく、この料理の質と量でこの値段？っと大変満足な内容だったので早速今週末に予約を入れました。またお酒も進んだことで大変活発な意見交換ができ親睦とロータリークラブの理解を深める貴重な時間を過ごさせて頂きました。



○今回のテーマ「平塚ロータリークラブビジョン声明について考えよう」に対する会員メンバーの意見や議論の内容ですが

- ・まずビジョン声明があるロータリークラブは少ないこと、またビジョン声明作成の目的の一つに今までは対外発信が多くなかったことより、平塚ロータリークラブの取組を発信する事も目的であった事や作成にあたっては、

SWOT分析のフレームワークを用いてロータリー会員にアンケートを取って作成した事やビジョン声明が誕生した経緯を知ることが出来ました。

・またビジョン声明の中の持続可能な奉仕活動を行うことについて山口会員の会社にてペットボトルのキャップ回収からポリオワクチンの配布に役立っているという会員自らが自足的な奉仕活動を実践している事例の紹介もあり今後会員全員が山口会員の会社にてペットボトルキャップを持ち込むのもいいのではないかと意見もありました。

・またビジョン声明は漠然としている部分もあり、ビジョン声明に基づいた新たな取組も必要なのではとの意見より、70周年に向けて今までの事業の見直しやビジョン声明を軸にした新たな計画を考えた上で年次目標を考えた方が良いのではとの意見や各委員会もビジョン声明とリンクした取組を進めていけばよりビジョン声明からの取組が具体的になり何をすれば良いのかがわかりやすいのではとの意見もありました。具体的にはこれから本格的に始まる超高齢化社会に向けて高齢者向けの取組もビジョン声明を踏まえて考えていき、平塚市全体を巻き込んで展開していく取組を考えていきたい等大変貴重なご意見と活発な議論が出来ました。是非今後の平塚ロータリークラブのよりよい発展の一助になればと思います。

・最後にロータリークラブの会員全員がビジョン声明を理解し、行動レベルにまで落とし込んでいく為に、ビジョン声明の中の好きなフレーズを自分自身に腹落ちさせて、個人でも団体でも背伸びをしないで無理なくやれる範囲で実践していくのがいいのではないかと思います。自分自身も今回の情報集会に参加したこと少しは理解が進んだと思います。後はそれを実践していくことだと思いました。今回の緑グループの情報集会についてはタイトな日程の中、メンバーのみなさんには日程調整等をして頂き大変ありがとうございました。またメンバーにも恵まれ大変貴重な体験もさせて頂きありがとうございました。以上緑グループの発表に変えさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

青グループ 元吉裕員幹事

メンバー：片野会員／木村会員／森会員／嶋田会員／松本会員／元吉グループ幹事

地区などの質問があった後、15分遅れで揃い、会をスタート。率直な感想として、若い会員からは大変よくできていて、分かりやすい。また、まだまだ漠然としたところがある、もっと掘り下げて、平塚RCの独自性をもったものにしていったほうが良いという意見も。

平塚RCらしさ…

誰とつながるか、誰と交わるか

例えば、親クラブの横浜RCでは入会待ちの状態だとか。また、例会前に商談も活発に行われているとか。平塚をリードする経済人の集まりとして、入会したいと思われるクラブにしていくために、より具体的な議論を全体でしていったらどうか。



その中で、姉妹クラブの再考もあるのではとの意見も。あるかどうか確認してませんが、ドバイとか、サウジアラビアとかと提携できたらいいな(笑) 乱文ですが、以上ご報告致します。

紫グループ 平井敬規幹事

メンバー：常盤会員／鳥山会員／白石会員／関口会員／瀬尾会員／永瀬会員／守屋会員／平井グループ幹事

1、ビジョンの理解について

【課題】

- ・ビジョンについて理解している人間が少ない
- ・新入会員や若年層へのビジョンの周知する機会が少ない



【対応】

- ・会員への周知や理解を深める為に、研修会や例会を活用してビジョンの理解度をあげていく
 - ・研修などに参加しやすい環境を作る為、なるべく日程などを早めに周知し、参加率をあげていく
- ビジョンに限らず、入会してきて細かいルールなど理解しないままに会員としてとまどう場面があります。親睦委員会はもとより、各委員会などで周知や研修を行い、若年層が育っていく環境を整えていくことが望ましい

2、具体的優先事項における委員会の対応

【課題】

- ・各委員会がビジョンに基づいて所信や活動を行えているか？

【対応】

- ・ビジョンに基づいた活動を念頭に各事業について検討する必要がある。

ビジョンの書かれている内容や項目について意識して活動ができているのか？またそれをどのように検証していくのか？など、ビジョンの書かれている内容だけでなく、そのビジョンによってどんな素晴らしいクラブになるのか？その点についても会員の共通理解を持つことが重要だと思います。

さらにはPDCAサイクルのように、ビジョンの進み具合を検証し、課題を見つめながら各年度それぞれが連動して事業を行うことが出来るようにしていくと良い。

3、その他意見

- ・情報集会のテーマとしては幅が大きいと感じます
- ・紫グループはクラブビジョンの例会前に情報集会を行ったので、例会を踏まえてやる方が良かった
- ・今回のような場合では開催前に例会にて、導入となる学びがあって、その後にディスカッションとなる情報集会を行っても面白いのではないかと？

平塚ロータリークラブビジョン声明

「私たち平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と、先進的なクラブを目指します」

1. 平塚 RC として、地域への貢献を積極的に行い、地域における存在感を強調する
2. 会員層を活かし、異業種交流の機会をもってネットワークを拡げる
3. 年齢層を活かした人間的交流を深化させ、親睦活動を発展させる。
4. 会員間でロータリー理念の理解を深め、情報を共有し、ロータリー活動の参加意識を高める（向上させる）

がバナー月信 12月 No.6号より

地球環境保全プロジェクト

『米山クリーンキャンペーン (海岸清掃奉仕) 開催報告』

地区米山奨学委員会
委員長 三荒弘道
(平塚RC)



2022年11月5日(土)に平塚海岸において米山クリーンキャンペーン (海岸清掃奉仕) を開催いたしました。コロナ禍が続き昨年、一昨年と開催を断念し、今年も当初9月25日(日)開催の予定でしたが、台風15号の接近に伴い中止となりました。大変ご多用な佐藤ガバナー日程の確認をさせていただき、11月5日に延期開催となりました。

今回の米山クリーンキャンペーンは、3年ぶりの開催ということもあり、また校友会ルイ・ツリン会長の進言も考慮し、海岸清掃奉仕だけでなく、海から見た湘南海岸線を船に乗り体感していただく乗船体験も併せて開催を致しました。当日は快晴とまではいかないものの、天候も穏やかで、波もなく、良き天候の中で開催ができ、30名を超える奨学生、学友に参加頂き、

加えて佐藤ガバナーを初めとする多くのAG、クラブ米山奨学生カウンセラーの皆様にもお集まり頂き、賑やかに開催することが出来ました。久しぶりの野外での奉仕活動は奨学生、学友にも刺激があり、笑顔輝く姿が印象的でした。奉仕活動終了時には横須賀ロータリークラブ 佐久間さん(クラブカウンセラー)のご指導の元、2780地区米山テーマソング「世界の懸け橋」を奨学生、学友が大きな声で合唱することもできました。

米山クリーンキャンペーン開催にあたり、当日ご参加頂いた皆様に感謝を申し上げますとともに、諸準備にご努力頂きました米山学友会・米山奨学委員会のメンバーに心からの御礼を申し上げ開催報告とさせていただきます。



幹事報告

◎12月10日(土)13:00よりインターアクト委員会が相澤第一ビルで開催されます。
又城インターアクト委員長が出席されます。

◎クリスマス例会が12/22開催されます。
ただいま出欠 案内を回しますので、まだ回答されていない方は是非〇を付けてください。

◎本日は第二回目情報集會報告会となります。
いつもなら新会員中心ですが、今回は少し慣れた方に幹事となって頂きましたので、その角度での発表があるかと思ひます。

委員会報告

本日の委員会報告はございません。

今週のお祝い

誕生日祝い・・・下里幸平会員
結婚祝い・・・無し



誕生日祝いを会長より受け取り、
にっこりのとつても若い下里会員

メークアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 26名+6グループ

ゲスト 0名

ビジター 0名

卓話・行事予定

12月15日(木) (株)ユサワフードシステム 代表取締役 湯澤剛様
12月22日(木) クリスマス夜間例会
12月29日(木) 休会

市内例会変更

現在ございません。

